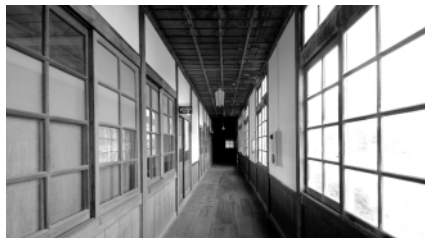


岡山県北部に位置する真庭市久世地区に建つ「旧遷喬尋常小学校」。明治四〇年に建てられたルネサンス調の外観を持つこの建物は、国の重要文化財にもなっていて、近代の小学校建築を代表するその優雅な姿は、映画「ALWAYS・三丁目の夕日」にも登場している。ここは平成二年まで、現役の小学校校舎として使わ

映画「ALWAYS・三丁目の夕日」のロケ地にもなった小学校



木で作られた天井や床などは、温みがあるだけでなく、100年を超える年月が生み出す重厚さと歴史を感じさせる

“ゆるやかな管理”が賑わいを生み出す

旧遷喬尋常小学校(木造校舎の再活用)



パブリックスペースの多様な活用事例から

正面入り口の上にある校章は、「久世」の文字で帆を張った高瀬舟をデザインした明治時代とは思えないモダンなもの。ちなみに「遷喬」という名は、中国の古典「詩経」の句にちなんで幕末期の儒家・陽明学者である山田方谷が名づけたという



「久世エスバスランド」のグラウンドで毎月第3日曜日に開かれる「久世軽トラ朝市」。産地直送の牡蠣の販売やもち投げも行われる、始められてからもう10年も続いているという名物行事



校庭では住民による「アート展」なども開催される(平成4年)

れていたが、現在は、隣接して平成九年に建てられた「エスバスセンター」という新しい施設と合わせて、校舎が建つ敷地全体が「久世エスバスランド」として、一般に開放されている。

旧校舎には、市民の寄贈による一般書とまんがを置いた「きてみてよんで」という図書館が一階にある。二階はランドピアノが置かれた講堂での落語会や教室でのなつかし給食体験など、さまざまな行事で利用されている。普段から誰でも気軽に入れるように入り口は開放され、学校帰りの小学生や中学生が訪れ、本を読んだり、グラウンドでサッカーや野球を楽しんだりする光景が毎日見られるという。

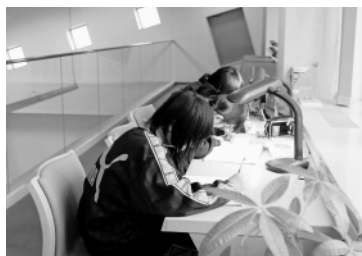
真庭市の担当部署である教育委員会では、「単に保存しているだけではなく、市民の思っように使ってもらえる、文化と情報と交流が体感できるスペースであり、市民の憩いの場なんです」と説明する。

この言葉のとおり、「エスバスセンター」のホワイエの一角に設けられた喫茶「花水木」では、近隣の高齢者の方などが集まって会話を楽しんでいるのをはじめ、屋内に置かれている椅子では、主婦がミーティングをしていたり、学校帰りの中学生が友達と宿題をしたりと、まさに「自分たちの城」という感じでくつろいでいる。

こうした利用がなされている最大の要因は、市民のここを愛する気持ちを感じた「ゆるやかな管理」のおかげだ。実際に旧校舎では、これまでに利用上のトラブルはほとんど無かったという。誰でも気兼ねなく使えるということが、使う側にも自然と節度を生み出しているのだらう。旧遷喬尋常小学校は、市民にひらかれた施設として、地域の人たちに上手く使われているのだと言える。

(文責・CEL編集室)

CEL



久世エスバスセンターの中には、自習スペースも設けられた市立図書館もあり、こちらも多くの市民が利用している



久世エスバスセンターは、旧遷喬小学校を久世町のシンボルと考えていることから、できるだけ校舎を大きく見せるように、校庭側の屋根が低くなるように設計されている

「旧遷喬尋常小学校」問い合わせ先

財団法人久世エスバス振興財団
〒719-3214 真庭市鍋屋17-1
TEL.0867-42-7000 FAX.0867-42-7202
HP:<http://www.city.maniwa.okayama.jp/espace/>



エスバスホールは、クラシック音楽などに適したシューボックス型と演劇や舞踊、古典芸能等に適したプロセニアム型の二つ形式に転換できる。大ホールとリハーサルにも使える小ホールがある



喫茶「花水木」は、オーナーの気さくな人柄もあって、市民のコミュニケーションスペースとなっている